

## 創世記

赤銅色の海藻が水面下で揺れているのが見える  
お前が、その奥に沈んでいるらしく思えてならない

ペラペラの白い服をまとった人々が  
うず高く並んだ瓦礫の間を歩き回っている

解き放たれた電磁波が喜々として飛び交い  
あらゆるものを次々と貫通していく

\*

薄汚れた言葉が憐れみを請うている  
新しいものなど必要ない、と

蜘蛛の糸が風にはためくように  
生きている事実は飛び去ることだけを望んでいる

かつてコミュニケーションと呼ばれていた応答は  
今や無数の自慰的な一方向の放射となっている

降り注いでいるのは塵ではない  
お前自身が望んでいた、あの風化した「栄光」だ

\*

覚醒した真昼でも夢を見る  
鏡の奥にあるような息苦しい夢を

それが美化されたものだと知った時

犯され、穢されたことを初めて思い知る

静穏であること、平穏であることを  
これほどに憎んだことはない

私は念じている

再び怒りが目覚めることを

(2011.7.6)